



コツコツ とことん

大仙市立太田中学校
令和5年3月14日
NO. 136



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～



「底力」のある人に そめて 幸せに なりなさい

翠陽学年 卒業おめでとう そして ありがとう

「コロナ禍の中で思うことができずかわいそうな1年だったね。と思いやってくれる言葉もいただきましたが、みんなが苦しい中で、多くの人が私たちを思い、このような状況でできる最善のために力や知恵を貸してくれ、今まで気付かなかったことに気付かせてくださいました。感謝しかありません。だから私たちはかわいそうではありません。」と胸を張って言っている高校生のニュース映像に胸が熱くなりました。

普通、当たり前ではない状況だからこそ、「今を大事に、今に全力を注ぐこと」「状況を嘆かず受け入れ、最善を尽くすこと」「普通、当たり前だと思っていたことへの感謝」など、今まで思ってもいなかったことや多くの学びを得た3年間。マスク生活を余儀なくされた3年間に悔しさ悲しさもありますが、3月11日(土)、喜びの中で太田中学校第61期生の卒業式を挙行了いたしました。担任の池田先生、大畑先生に名前を呼ばれ、奈良先生のピアノ演奏の中で受け取った卒業証書を手し、これまで共に過ごしてきた友との多くの思い出を胸にしなが

卒業の歌“FUNKY MONKEY BABYS”の「ありがとう」を感謝の思いを込めて歌い、自分探しの旅第2章となる新たなステージに旅だった翠陽学年。

多くの先輩が、知力を磨き、心身を鍛え、友情を育んできたここ太田中で、その伝統を受け継ぎ、新たな創造に取り組みながら、夢と志を育み、自分探しの旅をしてきた翠陽学年…授業に、行事に、生徒会活動に、部活動に、地域での活動に、60周年を祝う活動にと、先頭に立ち数々の足跡を残してきましたが、実直に励むその姿こそが真の意味での「太田Pride」でした。私たちはその偉大な足跡と実直な姿を、本校の誇り、「太田Pride」として 長く長く 語り継ぐのです。

がんばってもがんばっても思い描いた通りにならないことの連続の3年間でしたが、この先、大人になればなるほど、思い通りにならないこと、うまくいかないことは増えていきます。その方が多いと言っているのかも知れません。そんな時こそ、太田中の校訓『継続と徹底』の教えを思い出してください。苦しい時、辛い時に「続ける努力貫く全力」、それを「底力」と呼ぶのでしょうか。

翠陽学年33人、「底力」のある人になりなさい。
そして、幸せになりなさい。